

[Noh & Kyogen]

The Noh performance will include both Japanese and English subtitles. Subtitles are provided for the vocal performance and will also explain the scenes and various movements portrayed throughout the performance.

能 六浦 奥川 恒治
 狂言 狐塚 善竹 十郎
 解説 色づかない紅葉 中森 貫太
 (和歌の徳)

昼の部 14時始め

能の公演中にわかりやすい現代語訳や解説を表示する「字幕システム」を導入します! 単なる詞章では無く、公演の場面の説明や型の説明など、能を楽しくご覧頂くための情報を表示します。もちろん純粋に舞台を楽しみたい方はモニターを見ずに今まで通り鑑賞頂けますのでご安心下さい。

県民のための 能を知る会 鎌倉八ム演

新企画 わかりやすい字幕解説付き!

鎌倉芸術祭



2017年 11月25日 土

会場：鎌倉能舞台 入場料：各5,500円(座席指定料1,000円)

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13 TEL/FAX.0467-22-5557 (団体 5,000円) 【追加指定席料：1,000円(どのお席も指定できます)】
 E-mail.webmaster@nohbutai.com URL.http://www.nohbutai.com お席の指定ご希望の方は鎌倉能舞台宛、お電話ください。

【チケット取扱】お電話・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お葉書などで承ります。
 (鎌倉能舞台) TEL/FAX.0467-22-5557 (e+(イープラス) http://eplus.jp)



[Noh & Kyogen performance] Saturday 25th November 2017
 @Kamakura Noh Theatre (248-0016 Kanagawa-ken Kamakura-shi Hase 3-5-13)
 All seat 5500 yen (For morning or afternoon performance) Tickets are available on line : URL http://www.nohbutai.com/
 A.M. 10:00 - 12:30 Commentary in Japanese / Kyogen FUSE NAIKYO (Juro Zentiku), Noh MOMIJI-GARI (Kanta Nakamori)
 P.M. 2:00 - 4:30 Commentary in Japanese / Kyogen KITSUNEZUKA (Juro Zentiku), Noh MUTSURA (Koji Okukawa)
 Subtitles will be shown on the screen by the side of the stage. English overview is also provided.

昼の部 午後2時始

解説 色づかない紅葉 和歌の徳 中森 貫太

狂言 狐塚 主人 善竹 十郎 太郎冠者 善竹富太郎

能 六浦 楓ノ箱 奥川 恒治 旅僧 野口 能弘 大鼓 大倉慶之助 太鼓 林 雄一郎 小鼓 幸 正昭 笛 竹市 学

質疑応答 中森 貫太

後見 遠藤 喜久 中森健之介 永島 啓吾
 駒瀬 直也 小島 英明 中森 貫太
 佐久間二郎 鈴木 啓吾

県民のための 能を知る会 鎌倉公演

新企画 わかりやすい字幕解説付き!

朝の部 午前10時始

解説 紅葉の曲 戸隠山鬼女伝説 中森 貫太

狂言 無布施経 侍女 佐久間二郎 住僧 善竹 十郎 侍女 永島 充

能 紅葉狩 鬼女 中森 貫太 平維茂 野口 琢弘 大鼓 大倉慶之助 太鼓 林 雄一郎 小鼓 幸 正昭 笛 竹市 学

質疑応答 中森 貫太

後見 新井麻衣子 久保田宏二 鈴木 啓吾
 奥川 恒治 中森健之介 駒瀬 直也
 小島 英明 遠藤 喜久

「紅葉狩」あらすじ
 平維茂(たいらのこれもち)が、帝の命により、信濃國戸隠山に住む鬼を退治に向かう。それを聞きつけた鬼は美女に姿を変え、紅葉狩りの酒宴を催し維持を誘い入れる。そして、かわるがわるに酒を愚め、酔い潰してしまふが、石清水八幡宮の使の神が夢中に現れ、宝剣を授け、維持の眼を覚まさせる。
 鬼は正体を現し維持に襲いかかるが、宝剣の力で鬼を退治し、都に帰還する。
 五番目鬼番物の代表作の一つです。

「みじころ」
 観世流では、本来は男の鬼で、「翠(しま)の能面を使い、しかし「鬼揃おにぞろ」の小書では、般若を使うので、女鬼となります。小書無しの紅葉狩はかえって珍しいですね。その演出には色々なパターンがあるのですが、毎回工夫しながら面白く演出したいと思っています。

「六浦」あらすじ
 東国修行の僧が相模国六浦の称名寺に参詣する。境内を見と山々は紅葉しているのに境内一本の楓だけ青いまま残っているの不思議に思い通りかかった女にその謂われを尋ねる。女は昔鎌倉中納言が相模に参詣(参詣)の際に参詣した際に、楓だけが先に紅葉して相模をめでたし、それを見たのが相模が「いかにして、この一本にしくれけん山に先立つ、庭のもみじ葉に感じた木がそれ以降紅葉するのを止めた」と語る。そこで僧が同向の和歌を手向ける。そこで女は喜び、我こそは楓の精と名乗って姿を消す。
 その夜僧が境内で説経していると、楓の精が現れ草木の事を語り報謝の舞を舞って夜明けと共に消え失せる。

「みじころ」
 草木の精が和歌の徳で成仏する曲は多いですが、先に僧をおもなした楓が和歌を詠んで貰った事で満足して紅葉を止めると言う一風変わった物語です。「紅葉しない楓」と言う地味なシテなのですが、そこを華やかに丁寧に勧めるのがキモのような感じがしています。シテが語る「功成り名遂げて身退くは、天の道と心得ず」の心が現代の人に通用するのでしょうか?

会場 鎌倉能舞台

日時 2017年 11月25日 土

入場料 全席自由席各5,500円(団体 5,000円) ※チケット代金は税込になります。

【追加指定席料：1,000円(どのお席も指定できます)】
 お席の指定ご希望の方は鎌倉能舞台宛、お電話ください。
 ※やむを得ず出演者・演目が変更になる場合がございます。

【チケット取扱】お電話・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お葉書などで承ります。
 (鎌倉能舞台) TEL/FAX.0467-22-5557 (e+(イープラス) http://eplus.jp)

主催：鎌倉能舞台 後援：神奈川県、鎌倉市 助成：神奈川県

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
 TEL/FAX.0467-22-5557
 URL.http://www.nohbutai.com
 E-mail.webmaster@nohbutai.com